

議会報告会実施報告書

開催日時	平成24年11月16日(金)19時~20時45分	
開催場所	サンライフ明石(西明石)	
出席議員	班 長	樽谷 彰人
	司 会 者	辻本 達也
	記 録 者	樽谷 彰人
	そ の 他	尾仲利治 大西洋紀 梅田宏希 深山昌明 中西礼皇 松井久美子 三好宏 北川貴則 富田賢治 (班員外)6名
参加人数	34名	
報告内容に関する質疑応答	<p>生活文化常任委員会(メガソーラーの設置及び住宅用太陽光発電設備設置補助について、使用済小型家電の分別収集について、天文科学館について)</p> <p>質問 メガソーラー事業は素晴らしいがコストはどれくらいなのか。 回答 5億円~7億円を想定している。家庭の太陽光発電と併用して行っている。</p> <p>質問 温室効果ガス、CO2削減や、脱原発が全国で叫ばれているが未来に向けたエネルギー施策をやってほしい。 回答 この事業でCO2を570トン削減予定。2012年度で17%削減、2015年度には25%引き下げる予定である。</p> <p>意見 ソーラーも良いですが、法人に対しても電気代を20%アップと言っている中で、昨年議会でも取り上げていた、PPSについてどうなったのか、市に何の動きも無い。市役所とか学校からやってみてはどうか。</p> <p>議員定数、報酬について</p> <p>意見 数を減らし政務調査費を上げてみてはどうか。海外に行けるよう議員もグローバル化が必要である。</p> <p>意見 市民とズレがある。片親世帯が多いし、子育て世代の職が無い。議員によって親身に話を聞いてくれる議員と、全く聞いてもらった事の無い議員がいる。</p> <p>質問 議会費に事務局の人件費も含まれているのか。 回答 事務局15名、諸経費等全てを含む。</p> <p>質問 監視機能強化で判断するなら数は多い方が良い。政務調査費の増額も必要では。 回答 二元代表制の下、市長1人、議員が31名両方が市民に選ばれ、市長は予算編成権があり、議会は議決権があり、また市長は人事権を持っている。予算の流用等、今後も監視機能強化に努めていきたい。</p> <p>質問 視察に行く度に、手当が支給されているのか。 回答 一切手当は無い。昔、委員会視察でお弁当が出たがそれもなくなった。</p>	

	<p>質問 デフレが進行している。財政が厳しいのなら、監視機能強化より行政と議会で痛みを受け入れないのか</p> <p>答弁 県内 29 市ある中で、明石市は借金の少ない方から 2 番目、ただし基金は 10 年前は 170 億円あったが、今は 70 億円しか貯金がない。今後 3 年間で人件費を 5 億円削減するが、議会も削減してた。今後も協議していきたい。</p> <p>意見 報酬を下げるのは良いと思うが、議会の発言や朝の演説など、顔と名前が一致しない議員がいる。仕事に対しての成果報酬もあると思う。</p> <p>意見 監視機能の充実、チェック機能の充実は活性化特別委員会の議論で進まない。住民主体で、業務の中で色々な選別でやって行かなければならない。徹底的に調査など、駅前再開発は行政からの説明を聞いているだけで、議会は中身について何も追求しないのか。</p>
<p>主な意見・提言・要望と応答</p>	<p>意見 議会もテーマ別懇談会をやったらいい。</p> <p>明石駅前再開発より西明石南の開発をやってほしい。都市公園化を考え、公がやる事業は別にある。医療、教育に力を入れてほしい。</p>

明石市市議会活性化特別委員長 様

平成 24 年 11 月 22 日
上記のとおり報告します。

班長 樽谷 彰人